

第54回

# 全国学童保育研究集会

in 京都

「全国研は元気の素」、2日間、存分に語りあい、学びあいましょう。  
ぜひ、ご参加ください！

全体会

2019年10月19日（土）13:00～16:55

会場：京都パルスプラザ（京都市）

12:00 受付開始  
13:00～13:30 歓迎行事  
13:30～13:50 開会行事  
13:50～14:15 基調報告 全国学童保育連絡協議会  
14:15～15:05 特別報告  
15:20～15:30 『日本の学童ほいく』普及拡大アピール  
15:30～16:50 記念講演  
「働きながらの子育て  
——子どもが自分で育つ力を育む」  
池添 素（NPO法人福祉広場）  
16:55 閉会

交流会 18:30～20:30

会場：京都パルスプラザ

分科会

2019年10月20日（日）9:30～16:00

会場：龍谷大学深草キャンパス（京都市）

8:30 受付開始 9:30～16:00 分科会

主催 全国学童保育連絡協議会 京都学童保育連絡協議会

後援 厚生労働省ほか



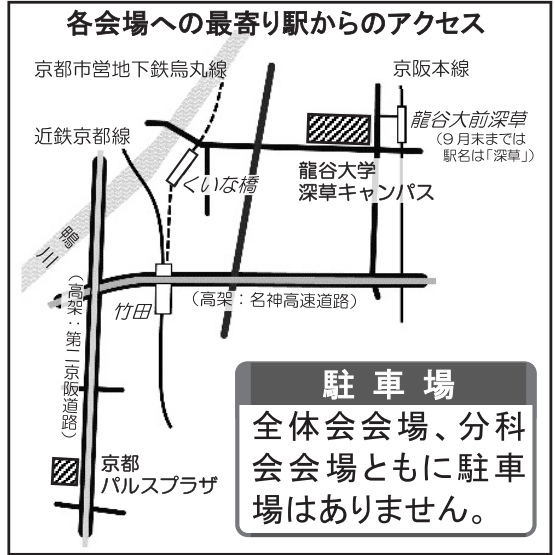
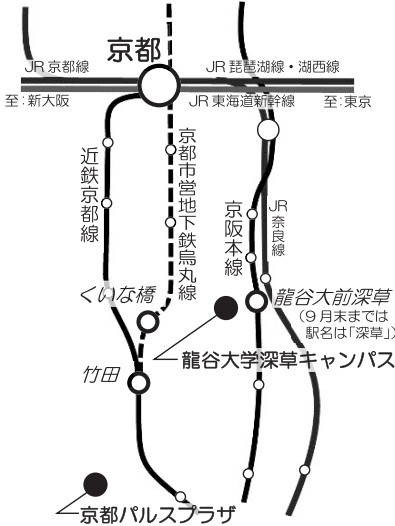
全国学童保育連絡協議会／編集・発行

日本の学童ほいく

働きながらの子育てと、学童保育の  
実践と運動に役立つ記事がいっぱい

月刊／定価340円

# 会場への交通案内



## <10月19日 全体会・交流会会場>

### ◆京都パルスプラザ

◎最寄り駅：近鉄京都線・京都市営地下鉄烏丸線「竹田」駅下車、西出口から

- ・徒歩 15分
- ・市バスまたは京阪バス「パルスプラザ前」下車

◎JR 東海道新幹線・JR 京都線「京都」駅下車、八条西口から直通バス（洛南エクスプレス）あり（便数は多くありません）。

## <10月20日 分科会会場>

### ●龍谷大学深草キャンパス

◎最寄り駅：京阪本線「龍谷大前深草」駅下車、徒歩約3分

（9月末までは駅名は「深草」）。

◎京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車、徒歩約10分。

## 参加者へのお願い

### レポート資料

- ・分科会に参加者が自主的にレポートや資料を用意されることは大歓迎です。ただし、印刷は当日、会場ではできませんので、必ずご自身で事前に印刷して持ち込んでください（印刷枚数は10月16日〔水〕までに全国学童保育連絡協議会まで問い合わせください）。
- ・分科会会場では、まず世話人にレポート・資料の持ち込みの旨を伝え、世話人を通して参加者に配布してもらってください。なお、1日目（土曜日）に世話人に渡したいので、できましたら1日目に全体会本部に2部お持ちください。

### 販売

- ・販売は、実践や運動の記録、子どもの作品（文章など）に限ります。販売を希望される方は、それぞれの都道府県連絡協議会または全国学童保育連絡協議会事務局に、10月11日（金）までに申し込んでください。
- ・販売は、用意してある販売場所に限りをお願いいたします。販売物は、全国学童保育連絡協議会に1部寄贈を行うことをお願いいたします。

### チラシ配布 署名・募金 など

- ・会場内でのこれらの活動を行うことは集会運営に支障となりますので、認めていません。全国からの参加者にとって研究・学習の有意義な場となるよう集会を運営しています。ご理解とご協力をお願いします。

# 第54回全国学童保育研究集会 参加申込書

※FAXで送る場合は、A4に拡大コピーして送信して下さい。

■ 申込締切日 2019年9月20日(金曜日)

FAX送信先：075-341-1878

■ 支払期限 2019年9月25日(水曜日)

■ 集会参加手続き、旅行手配等のために必要な範囲での運送・宿泊機関等の個人データの提供について、同意の上以下の旅行に申し込みたいです。

東武トップツアーズ記入欄

※9月中旬頃までに、請求書を送付いたしますので、期日までにお振込み願います。

受付日	月	日
受付NO		

フリガナ	お名前	保護者(06含む) 児童館職員 自治体担当職員 学校関係者 その他( )	指導員 職員 児童委員 学主	運営者	弁当	情報誌	交流会		分科会		宿 泊				フリガナ	
							10/20	10/19	10/20	10/18(金) 集会前日		10/19(土) 集会当日		フリガナ		
							850円	500円	1,500円	第1希望	第2希望	第1希望	第2希望	第1希望		第2希望
ギオン キョウタ	祇園 京太		指導員			○	○	○	5	19	T-1	T-2	T-1	T-2	ギオン マイコ 祇園 舞子	
1																
2																
3																
4																
5																

備考

申込日	2019年 月 日	申込	※所属名は送付物が届くよう所属部署まで記入して下さい。		
所属学童保育の所在地	都道府県 ( )		市町村 ( )		
フリガナ			参加証等送付先住所	〒 ( 自宅 学童保育 勤務先 その他 )	
申込代表者名					
TEL	-	-	(自宅・学童保育・その他)	携帯電話	- -
FAX	-	-	(自宅・学童保育・その他)	備考	

※保育希望の方は、下記にご記入ください。

利用日	フリガナ お名前	年 齢		その他(必要事項)
10月19日(土)		歳	ヶ月(小学 年生)	
10月20日(日)		歳	ヶ月(小学 年生)	

■ 申込者が多数の場合は、コピーしてお使いください。

<b>お申込先 東武トップツアーズ株式会社 京都支店</b>	当社 備考欄
〒600-8107 京都市下京区新町東入る東鋸屋町186(ヤサカ五条ビル9F)	
電話 075-361-5351 FAX 075-341-1878 営業時間 平日9:00~18:00(土・日・祝日は休み) 担当:山口・辻	

<b>お問合せ先 京都学童保育連絡協議会</b>
〒602-8143 京都市上京区猪熊通丸太町下中中之町519(京都社会福祉会館内)
電話 075-821-0700 FAX 075-496-8090 担当:出羽雅子

東武トップツアーズ(株)京都支店と共有した個人情報は、本研究集会への参加申込み受付業務と問い合わせ、本研究集会運営に必要な範囲で、全国学童保育連絡協議会の管理責任のもと、京都学童保育連絡協議会と共同利用いたします。また、参加申込者ご本人からの全国学童保育連絡協議会への本研究集会への参加申込み手続きを効率的に実施するために必要な範囲で、全国学童保育連絡協議会の管理責任のもと、ご記入いただいた個人情報を各都道府県連絡協議会(詳しくは、弊会ホームページをごらんください)と共同利用いたします。全国学童保育連絡協議会の個人情報保護方針に基づき、ご本人の許可なく第三者への提供は行いません。

# 第54回全国学童保育研究集会のご案内

## ●日程と会場

2019年10月19日(土) 全体会 京都パルスプラザ(京都市)  
2019年10月20日(日) 分科会 龍谷大学深草キャンパス(京都市)

## ●参加費(旅行契約には該当いたしません) 4,000円(消費税課税対象外)

1日のみの参加も、両日参加も参加費は同額です。

## ●お弁当(旅行契約には該当いたしません)

\*集会2日目【10月20日(日)】: 850円(お茶付・消費税含む)  
\*当日販売はございませんので、事前申し込みをお願いいたします。

## ●保育(旅行契約には該当いたしません)

\*3歳以上はご用意いたしますが、十分ではありませんので、出来るだけ地域で対応をお願いいたします。  
\*保険料・おやつ代は、当日会場にて集金させていただきます。  
\*必ず、事前にお申込みください。〆切は10月4日(金)とします。利用日・子どもの年齢・名前・ふりがな・必要事項(アレルギー等)があれば必ずご記入ください。

## ●『学童保育情報2019-2020』(旅行契約には該当いたしません)

\*『学童保育情報2019-2020』を購入希望の方は、申込書に必要部数をご記入ください。\*1冊500円。

## ●宿泊(東武トップツアーズ(株)の募集型企画旅行です)

\*集会前日及び集会当日のご宿泊を希望される方は、下記URLに添付させていただいている【宿泊ホテル一覧】から、ご希望ホテルの記号をご記入ください。ご希望ホテル、部屋タイプは先着順とさせていただきます。満室の場合は、第2希望または同等クラスのホテルをご案内させていただく場合がございますのでご了承ください。  
\*集会参加者の宿泊は、東武トップツアーズ(株)京都支店が企画・実施する「募集型企画旅行」です。  
\*旅行条件書(URLのホームページ掲載)をご確認のうえ、お申込ください。

## ●お申し込み方法

\*FAXまたはWEBにてお申込みください。  
\*集会事務局からの依頼を受け、集会参加・お弁当・保育・『学童保育情報』販売・宿泊のお申し込みを東武トップツアーズ(株)京都支店が、お申込みをお受けいたします。  
\*FAX申込みの場合は、申込書に必要事項をご記入の上、東武トップツアーズ(株)京都支店まで送信してください。FAXを送信される際は、下記FAX番号を再確認いただきくれも誤送信にご注意ください。  
\*WEBにてお申し込みの方は、下記URLよりお申込みください。

【QRコードにてアクセスされる方はこちら→】

▶集会参加申込URL: <https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/gakudou54/>



## ●お申込締切日 (WEB・FAX共通) 2019年9月20日(金)

## ●取消料について【集会参加・『学童保育情報』販売・弁当】

お申出日時	10月10日まで	10月11日以降
集会参加・『学童保育情報』・弁当	無料	100%

注) ご宿泊の取消料については、URLの宿泊案内ページに記載させていただいております。

## ●個人情報の取扱いについて

\*お申込みの際にご登録いただきましたお客様の個人情報(氏名・住所・電話番号等)につきましては、東武トップツアーズ(株)京都支店が、本研究集会への参加申込み受付業務と問い合わせ、本研究集会運営に必要な範囲で、全国学童保育連絡協議会・京都学童保育連絡協議会と共有します。東武トップツアーズ(株)京都支店は、お客様との連絡及び、今集会における運送・宿泊機関等の手配に係る目的以外で利用いたしません。その他、個人情報につきましては、弊社の「個人情報保護方針」に基づき取扱い、保護に努めます。

## お申込み《旅行企画・実施》

### 東武トップツアーズ(株)京都支店

「第54回全国学童保育研究集会」係 担当: 山口・辻  
観光庁長官登録旅行業第38号

〔一社〕日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員  
〒600-8107京都市下京区新町東鋸屋町186  
ヤサカ五条ビル9階

TEL: 075-361-5351 FAX: 075-341-1878

E-mail: [gakudou54@tobutoptours.co.jp](mailto:gakudou54@tobutoptours.co.jp)

営業時間(月~金) 9:00~18:00 ※土・日・祝日休業  
総合旅行業務取扱管理者: 桐野晋一

## 集会についてのお問い合わせ

### 京都学童保育連絡協議会 担当: 出射(いであい)

〒602-8143京都市上京区猪熊通丸太町下ル中之町519  
京都社会福祉会館内

TEL: 075-821-0700 FAX: 075-496-8090

E-mail: [gakudo-k@silk.plala.or.jp](mailto:gakudo-k@silk.plala.or.jp)

10月19日(土)

全体会 ●京都パルスプラザ

記念講演 「働きながらの子育て——子どもが自分で育つ力を育む」  
池添 素 (NPO法人福祉広場)



〈プロフィール〉

京都市職員(醍醐和光寮、若杉学園、保育所、児童福祉センター療育課)を経て、1994年「らく相談室」開設。2012年にNPO法人福祉広場に移行し、福祉広場相談室として相談事業を実施しています。現在、立命館大学産業社会学部、佛光大学社会学部、龍谷大学短期大学で非常勤講師、京都市保育園連盟巡回保育相談員など。全国学童保育研究会の分科会「働きながらの子育てと家族・家庭」の講師をされています。

著書●『子育てはいつもスタート—もっと“親”になるために』『笑顔で向きあって——今日から始める安心子育て』『いつからでもやりなおせる子育て——子どもといっしょに育ちを振り返る』(かもがわ出版) ほか

10月20日(日)

分科会 ●龍谷大学深草キャンパス

希望する分科会をひとつ選んでご参加ください。1日を通して学習・交流します。

	分科会	学習・交流のねらい
1 基礎講座 (講義)	①学童保育ってなぁに?——今日の子育てと学童保育の役割——	子育て環境の現状、保護者の仕事・職場や就労の実態をふまえて、学童保育の役割と保護者と指導員がともに子どもを育てる学童保育のあり方を学びます。
	②保護者と指導員で学童保育をもっとよりよく	「子どもたちが安心して生活できる学童保育にしたい」と願い、学童保育の生活内容をつくり、運営や条件整備に取り組むにあたって、保護者と指導員がどのようにかわるか、一人ひとりの保護者と父母会(保護者会)、指導員の役割を学びます。
	③学童保育指導員の仕事ってなぁに?	学童保育指導員の仕事とはなにかを確かめ、仕事に必要な打ち合わせや記録などの日々の実務やその意味、学童保育をよりよくしていくうえで指導員に必要なこと・大切にしたいことを学びます。
	④学童保育の生活——大切にしたいこと——	学童保育で子どもたちにどのような生活を保障するか、そして保護者が安心して働くために、学童保育で大切にしたいことはなにかを学びます。
2	子ども理解と学童保育の生活づくり(実践的交流) [一人ひとりの子どもの学童保育での生活を保障し、保護者が安心して子育てと仕事等を両立できるように大切にしたいことを、実践を交流しながら学びあいます]	
	①子どもを理解する視点と働きかけ・指導(3教室)	一人ひとりの子どもをどのように理解し、その理解をどう深めるか、子どもへの働きかけ・指導の視点を学びあいます。
	②安心できる関係づくりと生活内容(3教室)	継続的で安定した毎日の生活をつくるために、一人ひとりの子どもと指導員との関係から生まれる安心感を土台として、子ども同士の関係をつくるうえで大切にしたいことを学びあいます。
	③学童保育の生活の見通しと流れ(2教室)	継続的で安定した毎日の生活をつくるために、子どもの状況、状態をふまえ、平日の放課後・土曜日・長期の学校休業日など、それぞれの生活の見通しと流れをつくるうえで大切にしたいことを学びあいます。

	分科会	学習・交流のねらい
2 (続き)	④学童保育の生活とあそび（2教室）	子どもにとってのあそびの意味や学童保育の生活のなかでのあそびの位置づけ、指導員のかかわりを学びあいます。
	⑤子どもたちの生活を伝え、保護者とともに育てる（2教室）	子どもたちの生活の様子や指導員のかかわりを保護者に伝えること、保護者の生活や思いを受けとめ、指導員と保護者がともに子どもを育てることの大切さを学びあいます。
	⑥高学年にとっての学童保育（2教室）	高学年の子どもの学校や家庭、地域での過ごし方、子どもの思い・願いを理解し、1年生から6年生の子どもたちが過ごす場である学童保育で大切にしたいことを学びあいます。
	⑦障害のある子どもにとっての学童保育（2教室） 助言者・丸山啓史（京都教育大学） 助言者・依頼中	障害のある子どもが入所している学童保育での生活づくりの実践を交流し、指導員の働きかけで大切にしたいことを学びあいます。

運動を交流する分科会		
3	①つながる“わ” 父母会・保護者会の役割と活動（2教室）	学童保育を充実・発展させる父母会（保護者会）の活動を交流し、父母会（保護者会）の役割と大切さを確かめます。
	②市区町村の連絡協議会づくりと活性化	連絡協議会の活動を持続・発展させるための工夫、保護者・指導員が「あってよかった」と実感した経験を交流し、市区町村・都道府県の連絡協議会のもつ役割と大切さを確かめます。
4	公立公営の学童保育 ——実態と改善の課題——	公立公営の学童保育の実態と課題、保護者と指導員が生活内容と施策をどう充実させていくのかを交流し、公立公営の学童保育の意義・役割を確かめます。
5	保護者が運営する学童保育 ——運営と改善の課題——	保護者が主体的にかかわるうえでの運営の工夫、指導員との連携・協力のあり方、行政への働きかけの実際などを交流し、保護者が担っている役割と行政の公的責任について確かめます。
6	運営主体の変更・多様化する学童保育 ——実態と改善の課題——	公営の学童保育を民間委託する、保護者会や地域運営委員会が運営を手放すなどの理由により、保護者会等が法人格を取得したり、保育以外の事業を多角的に運営する法人が参入するなど、今までの運営主体に加え、運営主体の変更・多様化が見られます。その実態を交流し、行政の公的責任と運動の課題を確かめます。
7	企業が運営する学童保育 助言者・木村雅英（地方自治研究者）	市町村の委託・補助事業、指定管理者制度で運営される学童保育への企業参入について考えます。企業参入が広がっているなかで、その実態を交流し、行政の公的責任と運動の課題を確かめます。
8	子どもの放課後を考える	「放課後児童対策に関する専門委員会 中間とりまとめ」「規制改革推進に関する第4次答申」を受けて、子どもにとって放課後とは何かを確かめ、学童保育が「生活の場」であるために何が必要かを考えます。
9	学校内の学童保育 ——実態と改善の課題——	学童保育が学校内にあることの利点や課題などを整理し、よりよい学童保育をつくるうえでの学校との連携や生活環境づくりについて考えます。
10	毎日の生活の場——よりよい施設を子どもたちに——	施設・設備の実態と課題について、省令基準や「放課後児童クラブ運営指針」をふまえて、改善運動や工夫を交流し、学童期の子どものための「生活の場」にふさわしい学童保育の施設・設備のあり方を確かめます。
11	安心して関係を築ける人数に ——「40人以下」の実現を考える——	省令基準や「放課後児童クラブ運営指針」で示された「子どもの人数はおおむね40人以下」を実現するための、新設、分割の必要性とあり方を考えます。

	分科会	学習・交流のねらい
12	学童保育の制度と施策の拡充の課題	「子ども・子育て支援新制度」施行後の学童保育の制度・施策の現状と課題を明らかにし、国と自治体に対する運動を交流し、学童保育の制度・施策を充実させていくために必要なこと、行政の公的責任と運動の課題を確かめます。
13 指導員にかかわる課題	①専任・常勤・複数体制の確立、労働条件の確立	指導員の仕事を確かめ、「専任・非専任」「常勤・非常勤」「午後からの勤務」「ローテーション」体制の実態と課題を明らかにし、専任・常勤・複数体制の必要性、各地域での労働条件の改善の必要性を確かめます。
	②指導員の仕事と資質向上の取り組み	指導員の仕事には日常的・継続的な研修と経験の蓄積が不可欠であることを確かめ、地域で行われている研修や行政研修、自主的な研修の内容について交流します。
	③指導員の職場づくりと指導員組織	指導員の仕事に必要とされる「職場づくり」や「連携・協力」「学びあい」の実態を交流して、課題を確かめ、指導員同士が学び、支えあうための指導員組織の必要性やあり方について学びます。

講義と交流の分科会		
14 障害のある子どもと学童保育	①障害のある子どもの理解と受け入れ 講師・田村和宏（立命館大学）	障害のある子どもの権利を保障し、保護者の思いを受けとめつつ学童保育での生活をつくるにあたって大切にしたい視点や必要な条件整備について学びます。
	②発達障害のある子どもの理解と支援 講師・河合隆平（首都大学東京）	発達障害のある子どもの理解を深め、学童保育での生活、子ども同士のかかわり、指導員とのかかわりで大切にしたいこと、保育するうえで求められることを学びます。
	③地域の専門機関・専門職等との連携 講師・佐々木将芳（静岡県立大学短期大学部講師）	障害のある子どもとの生活づくりに必要な関係機関はどのようなものがあるのか、また関係機関との連携のあり方について学びます。
15	高学年の子どもたちの生活と理解 講師・得丸浩一（京都・小学校教諭）	高学年の子どもたちの心とからだの特徴、生活、願い・思いを確かめ、高学年の子どもたちに保障したい放課後の生活や、学童保育や家庭で大切にしたいことを学びます。
16	子どもの権利を学ぶ 講師・増山 均（早稲田大学名誉教授）	「子どもの権利条約」を今日の日本の実情と照らしあわせながら、学童保育や家庭で大切にしたい子どもの権利を学びます。
17	今日の子どもの問題を考える 講師・中西新太郎（関東学院大学）	SNSをはじめとしたインターネットの利用や、いじめ、不登校、引きこもり、学級崩壊、少年犯罪など、今日の子どものめぐる状況を明らかにし、子ども理解を深めることの大切さ、子育てや教育の課題を学びます。
18	学童保育と学校——保護者と指導員と教師のかかわり—— 講師・土佐いく子（大阪・元小学校教諭）	今日の学校・教師・子どもをめぐる実態や動向、子育ての願いや子どもの生活を、保護者・指導員・教師が伝えあうことの大切さと、それぞれの実践の課題を学びます。
19	子どもの気持ちに気づく——家庭で、学童保育で—— 講師・海口富土江（日本福祉大学講師）	働きながら子育てをしている保護者の状況や思い、願いもふまえ、一人ひとりの子どもの思いや気持ちに耳をかたむけ、気づくこと、理解を深めること、信頼関係を築いていくことの大切さを学びます。
20	性について考える 講師・中村好子（京都・養護教諭）	からだと心が大きく変化・成長する児童期に、からだと心の変化・成長についての基礎知識をはじめとして、生活をともにする大人が学んでおきたいこと、配慮すべきこと、大切にしたいことについて学びます。
21	子どもの発達と学力 講師・佐藤 隆（都留文科大学）	学力とはなにか、子どもの成長・発達と学力のかかわり、学力の土台になるもの、子どもの発達を保障するために家庭・学童保育・学校で大切にしたいことを学びます。

	分科会	学習・交流のねらい
22	子どもの遊び・学び・仕事 講師・代田盛一郎（大阪健康福祉短期大学）	子どもの成長・発達に、遊び・学び・仕事はどのような意味があるか、また、働くことや働く人への理解を深めること、家事労働の大切さなどについて学びます。
23	子どものからだと生活 講師・尾崎 望（京都・小児科医）	今日の子どものからだの特徴、成長期にある子どものからだについて考えるうえで家庭・学童保育・学校で大切にしたいことを学びます。
24	子どものアレルギー 学童保育の生活のなかで 講師・小川雄二（名古屋短期大学）	おやつや食事の提供など学童保育の生活づくりの実際や課題を交流し、アレルギーの基礎知識と基本的な対応、子どもの安全を守るうえで欠かせない視点を保護者と指導員がともに学びます。
25	働きながらの子育てと家族・家庭 講師・池添 素（NPO福祉広場）	働きながら子育てをしている保護者の状況、仕事・職場の実態をふまえ、家族・家庭の役割、働きながら子育てできる環境を築くうえで必要なことについて学びます。
26	仕事・職場、働き方を考える 講師・藤井 豊（京都・弁護士）	働く者の仕事・職場、働く条件の実態を明らかにし、働きながら子育てをするために必要な、保育・学童保育の公的保障、労働条件や労働環境を整備するうえでの課題を学びます。
27	地域とつながる学童保育 講師・柴田謙治（金城学院大学）	学童保育が地域とつながるとはどういうことか、町内会・自治会など地域の団体と学童保育のかかわり、働く者と地域のかかわり、安全・安心な街づくりの課題について学びます。
28	自治体施策と地方自治の課題 講師・平岡和久（立命館大学）	「従うべき基準」の参酌化による自治体の動き、地方公務員法等の改定による会計年度任用職員の導入、今日の自治体の政策動向と国や自治体の役割と責務、これからの運動の課題について交流し、学びます。
29	困難を抱える家庭を支える学童保育 講師・下浦忠治（東京成徳大学講師）	「子どもの貧困」「児童虐待」についての実態と課題を学び、どの子どもにとっても安心して過ごせる場所であり、困難を抱える子どもや保護者を支える学童保育の役割について考えます。
30	社会保障・児童福祉施策の動向と課題 講師・石原剛志（静岡大学）	社会保障の現状と課題、公的保育制度の動向、権利としての福祉、子育てと仕事等を両立することの保障を確立するための運動の課題を学びます。
31	特設分科会 「従うべき基準」の参酌化と各地域の条例	学童保育の基準が「従うべき基準」から「参酌すべき基準」になったことについての問題点を明らかにし、行政の公的責任と運動の課題を確かめます。
32	特設分科会 災害と学童保育 A：助言者・畑山みさ子 （宮城学院女子大学名誉教授）	A：（震災も含め、心理的支援やケアの課題について学ぶ分散会）災害によって、心に痛手を受けた子どもたちにはしばしば見られる行動や、そうした子どもたちやその周囲の大人たち（保護者や指導員）に対して心がけること、また、支援者をどのように支えていくかについて、東日本大震災直後から、子どものケアにあたる人のための支援活動を続けている助言者から学び、交流します。 B：（被災した地域の現状と、今後の課題を共有し、考えあう分散会）東日本大震災と原発事故から8年あまりが経過しました。自然災害が各地で続くなかで、被災した地域の現状、学童保育の復旧・復興に向けての課題、災害発生時に子どもたちの安全をどのように守るか、これまでの経験をふり返りながら、必要なことについて考えあいます。また、学童保育の防災・安全対策、災害時にも求められる役割を保障する学童保育の施策・運営を考えます。